

佐渡裕

指揮

ブラームス

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77

交響曲第1番 ハ短調 Op.68

新日本フィルハーモニー交響楽団

ヴァイオリン
三浦文彰

次代の巨匠ヴァイオリニストと贈る
ブラームス最高傑作

© Yoji Hori

© Jun Yoshimura

© K.Miura

2026 5.24 日

15:00 開演
[14:15 開場]

栃木県総合文化センター
メインホール

チケット料金(全席指定 / 税込) S席 10,000円 / U-30席(30歳以下限定) 3,000円

※チケットはお1人様4枚まで購入可

※U-30席は30歳以下限定(公演日の年齢、当日入場時に身分証提示)、窓口・電話販売のみ

※車いす席での鑑賞をご希望のお客様は、ご購入前に栃木県総合文化センタープレイガイド

(028-643-1013 / 10:00~19:00)までお問い合わせください。

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。※事情により公演内容が変更になる場合がございます。

栃木県総合文化センタープレイガイド(10:00~19:00)

電話受付

028-643-1013

(発売初日の電話受付は14:00から)

WEB予約

<https://www.sobun-tochigi.jp/> (24時間)



一般発売 / 2月7日[土] 10:00~(発売初日の電話受付は14:00から)

公演に関するお問合せ

(公財)とちぎ未来づくり財団 文化振興課

028-643-1010 (平日8:30~17:15)

主催 | 公益財団法人とちぎ未来づくり財団 共催 | 下野新聞社 / RADIO BERRY

トップアーティストの「響宴」で味わうブラームス！

音楽評論家 奥田佳道

マエストロ佐渡裕とヴァイオリンの三浦文彰がブラームスを奏でる。ファン憧れのトップアーティストの「響宴」に胸ときめく。愛すべきキーワードが浮かぶ。音楽の都ウィーンだ。佐渡も三浦もウィーンから檜舞台に羽ばたいた。ドイツ北部の港街ハンブルクに生れたブラームスも20代の終わりからウィーンに住み、ゴールドの装飾もまぶしい、あの楽友協会の監督も務めた。ブラームスはお気に入りの避暑地で創作のペンを執る夏の作曲家だった。傑作の誉れ高いヴァイオリン協奏曲は、オーストリア南部ヴェルター湖畔の美しい村ペルチャッハで書かれた。壮大にして優美。三浦が紡ぐ流麗かつ技巧的なソロパートばかりでなく、オーケストラがまた素晴らしい。夢見るような調べもハンガリー舞曲に通じる躍動感も聴こえてくる。練達のキャリアを誇る佐渡が、劇的な交響曲第1番に腕をふるう、と記しただけで早くも興奮を隠せないファンも多いことだろう。ここへきて演奏のクオリティをぐっと高めている新日本フィルハーモニー交響楽団と佐渡のステージは、いま音楽シーンの華だ。喝采が早くも聴こえてくるかのよう。ブラームスづくしのロマンティックなコンサート。開演が近づいてきた。



© Masahiro Uto

三浦文彰

Fumiaki MIURA (ヴァイオリン)

ハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。18年サントリーホールARKクラシックスのアーティスト・リダー、24年に宮崎国際音楽祭の音楽監督に就任。ロサンゼルス・フィル、マリンスキー劇場管、イスラエル・フィル、ベルリン・ドイツ響、NDRエルブ・フィルなどと共演。共演した指揮者ドゥタメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカマン、ロウヴァリ、フルシヤなど、ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務めた。室内楽では、ズーカマン、マイスキー、ピリスなどと共演。国内では、大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題になった。24年、デビュー15周年を迎え、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行い絶賛を博した。25年には、フィルハーモニア管、バンベルク響と共演。CDはエイベックスよりリリース。09年度第20回出光音楽賞受賞。使用楽器は株式会社クリスコ（志村晶代表取締役）から貸与された1732年製ガッラルネリ・デル・ジェス「カストン」。

佐渡裕

Yutaka SADO (指揮／音楽監督)

京都市立芸術大学卒業。レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。95年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。これまでバリ管弦楽団、ケルンWDR交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2025年6月までオーストリアの名門トーンキュンストラ管弦楽団音楽監督を10年間務め、その後同楽団名誉指揮者に就任。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウィンド・オーケストラ首席指揮者、「サントリー1万人の第九」総監督などを務める。CD録音は多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した22枚目のCD「マーラー：交響曲第6番」。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」（新潮文庫）、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫／新書)など。

オフィシャルファンサイト
<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



© Peter Rigaud c/o Shotview Artists

新日本フィルハーモニー交響楽団

NEW JAPAN
FILHARMONIC
SUMIDA, TOKYO

1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任、歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕（75～79年）、第2代音楽監督・井上道義（83～88年）、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク（03～13年）、第4代音楽監督・上岡敏之（16～21年）。ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP（10～16年）、インゴ・メッツマッハーがConductor in Residence（13～15年）、久石譲が新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ（W.D.O.）音楽監督（04～25年3月）、Music Partner（20～25年3月）を務めた。受賞歴に三菱信託音楽奨励賞、三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ベンクラブ音楽賞等。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

公式ウェブサイト：www.njp.or.jp 公式X：@newjapanphil
公式Facebook：/newjapanphil 公式Instagram：/newjapanphil



© K.Miura

栃木県総合文化センター

〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8 TEL 028-643-1000(代表)

交通アクセス

- 東武宇都宮駅から — ○徒歩で約10分
- JR宇都宮駅から — ○タクシーで約5分
○バス(①②⑥⑦⑪⑫⑬のりば等 県庁前経由)で「県庁前」下車後、徒歩で約3分
- 東北自動車道から — ○鹿沼I.C.から約30分

※会場には駐車場がありません。
お車でお越しの方は周辺の有料駐車場をご利用ください。

